VOL.8 第75号

横浜市テニス協会ニュース

YOKOHAMA TENNIS ASSOCIATION NEWS

発行 横浜市テニス協会 総務部 〒231-0028 横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアービル306号 TEL045-663-0557 FAX045-663-0558

第76回 横浜市民スポーツ大会テニス競技 ダブルス

第76回横浜市民ダブルス大会は令和4年4月2日から5月22日までの土・日・祝で開催されました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらの大会開催でしたが、本年は昨年より50組多い618組でした。

参加者が増えてはいるものの一般女子の参加数が減り今までのように予選・本戦のドロー編成が出来ず全て本戦からの試合進行となりました。

本大会は2日目から雨に見舞われ、週末ごとに雨の予報が多く、文句も言わずプレーをしてくださった選手の皆様、運営の皆様には大変なご苦労があったと思われます。

一般男子決勝試合風景

17種目の試合はそれぞれに緊迫感漂う素晴らしいものでした。

ペア同志良く話し合い、信頼し、守備力の広さが勝利に繋がる要因なのだと感じました。

一般男子優勝の笠原選手は3年をかけて、3種目(ダブルス・シングルス・ミックス)優勝を達成し、一般女子優勝の山本選手は2種目(ダブルス・シングルス)の優勝を果たしました。又、年齢別も各種目の層が厚く、1戦、1戦の勝利を勝ち得るには並大抵の努力ではなかったと思います。

そして、選手の皆様の体力、健康維持・管理の素晴らしさに感動致しました。

新型コロナが終息しそうにない現状を考えますと、感染予防対策を怠ることなく、又来年の市民大会への出場をお願いする次第です。

最後に運営に携わって下さった理事の皆様・審判委員の皆様・事務局の皆様に御礼申し上げます。

(市民ダブルス競技委員長代行 入澤多恵子)

一般女子決勝試合風景

〈一般男子の部優勝〉

念願の優勝!三冠に貢献!

市川 寛康・笠原 翔組(とつかTC・在住)

はじめに本大会を運営してくださった横浜市テニス協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

過去一度もベスト8以上に進出することができず、今年こそという気持ちで挑みました。初日から苦戦する試合ばかりで、厳しい場面もありましたが、笠原くんの素晴らしいプレーと勝負強さのお陰もあり切り抜けることができました。

また、ミスをしても気落ちすることなく2人で終始楽しく試合をすることができました。笠原くんは3年前のシングルス、混合ダブルスで優勝していましたが、ダブルスは惜しくも準優勝という結果で、残すは男子ダブルスのみでしたので今大会にて三冠達成に貢献できたこと大変嬉しく思います。

大会期間中に練習、アドバイスをしてくださった方々、応援に駆けつけてくれた家族、笠原くんのご家族、とつかテニスクラブの皆様、そしてペアを組んでくれた笠原くん、ありがとうございました。この結果に満足することなく、今後も良い成績を残せるよう精進します。 (市川 記)

〈一般男子〉市川・笠原、山本・高橋の各選手

〈一般女子の部優勝〉

初ペアリング・初優勝

鈴木 未来・山本 理佳組(ASP港南台TS・GODAI白楽)

まず始めに、本大会を企画・運営してくださった横浜市テニス協会の関係者の皆様に深謝いたします。本大会で初めてペアを組み、一緒に練習する時間があまりない中で、一試合毎に話し合い、絆を深めながら常に楽しいダブルスをすることができた結果、優勝することができました。

最後まで笑顔を絶やさずプレーをすることができたのも、応援して下さった周りの皆様のサポートのおかげです。現役を引退してから数年振りの試合でしたが、昨年12月のシングルスに引き続きダブルスも優勝する事が出来て嬉しいです。これからもGODAI白楽支店から横浜市の皆様にテニスの楽しさを発信していけたらと思います。 (山本 記)

私が初めて今大会に出場したのが高校生の時でした。数十年経ってまさか優勝できるとは思ってもいなかったので、とても嬉しいです。ペアを組んでくれた理佳ちゃん、いつも応援してくれている家族・練習仲間に感謝です。(鈴木 記)

〈一般女子〉鈴木・山本、石井・大津の各選手

〈男子35歳以上の部優勝〉

緊張と高揚のあいだ

小林 慎吾・上田 悟郎組(ケンウッドTC)

まず始めに、コロナ禍の中、大会運営をして下さった横浜市テニス協会の皆様に深く御礼申し上げます。

今大会は初戦から決勝まで厳しい試合が続きましたが、最後まで勝ち切れた事は今後のテニス人生において自信に繋がります。普段から一緒に武者修行して頂いている、ケンウッドTC、STARZENテニス部、CHOCOLATEの皆様のお陰です。いつも一緒に練習して下さり感謝しております。

決勝はケンウッドTCで切磋琢磨しているテニス仲間だった事もあり、緊張感と高揚感のあいだの仮想現実のような不思議な感覚の中、楽しんでプレー出来ました。来年もケンウッドTC同士で決勝が出来るよう、今後も高めあいましょう。

今、世界情勢が穏やかでない中、テニスを続けていられることを幸せに感じております。これからも平和で楽しくテニスが出来る事を願います。 (小林 記)

〈男子35歳以上〉小林・上田、山澤・河田の各選手

〈男子40歳以上の部優勝〉

ペアのプッシュに感謝!!

尾崎 陽・河村 一成組（ラック港南台TG）

まず始めに、コロナ禍の中、本大会を運営してくださった横浜市テニス協会関係者各位の皆様に心より感謝申し上げます。

決勝では相手ペア奥田さん、阿部さんの気持ちのこもった素晴らしいプレーに引いてしまったところもあったのですが、ペアの河村さんのプッシュのお陰で気持ちを立て直して勝つことが出来ました。

河村さんの素晴らしいプレーの数々がとても頼もしかったです。誘って頂いて、プッシュしてくれてありがとう!!

最後に応援してくださった皆様、練習を相手や練習コートを利用させてくださった皆様、厚く感謝申し上げます。今後も進化していけるよう日々精進して参りたいと思います。（尾崎 記）

〈男子40歳以上〉尾崎・河村、奥田・阿部の各選手

〈男子45歳以上の部優勝〉

適度な緊張感の中で

池谷 智隆・板橋 マリオ組（ウエスタンTC・横浜市役所テニス部）

はじめに、このような素晴らしい大会を運営して下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

昨年までは一般の部に出場しておりましたが、45歳という節目の年に年齢別種目にチャレンジし、最高の成績を収めることが出来て大変うれしく思います。

パートナーのマリオさんには年齢別の試合に出るにあたり今年から組んで頂きましたが、試合が始まるまでは足を引っ張らない様にと不安でいっぱいでした。

いざ試合が始まれば適度な緊張感の中で楽しくテニスをすることができ、自分の中でも良いパフォーマンスを発揮できたと実感しています。

マリオさんはもちろんのこと、いつも一緒にテニスをして下さる皆様や快く(!?)送り出してくれる家族への感謝を忘れずに、これからも楽しくテニスを続けていきたいと思います。（池谷 記）

〈男子45歳以上〉池谷・板橋、河西・阿久津の各選手

〈男子50歳以上の部優勝〉

普段味わえないもの

山口 正夫・長田 祐治組（アレスマイスター・ケンウッドTC）

このような時期でも各カテゴリで多数の参加者には驚きです。横浜市民大会の人気がわかります。毎年この人気大会を目標にしているので優勝できて本当に嬉しいです。

毎試合厳しい場面がありましたが、年甲斐もなく大きな声を出してお互いを鼓舞して勝ち抜くことが出来ました。この歳でも興奮できるものだなぁーと普段味わえないものを嬉しく思いました。

また来年も参加します。そして一つでも上に行けるように声出して頑張ります。

最後になりますが、このような時期で運営に携わられた大会関係者の皆様、とても気持ち良くプレーさせて頂きました。感謝いたします。

（長田 記）

〈男子50歳以上〉山口・長田、徐・金本の各選手

〈男子55歳以上の部優勝〉

皆の思いを背負って

細川 慎一・丸山 琢磨組（亀の甲山TC）

ペアの丸山さんとは、昨年の50以上の部にペア歴0か月にて挑戦、失う物は無く運良く勝つ事ができました。

55にカテゴリーを上げて参加した今年度、昨年とは違った緊張がありました。エントリーと同時に、勝たなければ、無様なテニスは出来ないという思いが強く、プレッシャーに感じました。

いざドローが開かれてみると、同じクラブの組が同じ山に皆並んでいるではないですか。お互いの手の内を知った上で良いプレーをするにはどうしたら良いのか、夢に見る夜が続きました。悩んだのが幸いしてか、なんとか同クラブ対決には勝ち残り、決勝では皆の思いを背負って必死に戦いました。

丸山さんの卓越したパワーと10ポイントになると現れる勝利の女神にも助けられ、何とか勝利することができました。

難しい社会環境の中、横浜のテニス愛好家の為に大会を運営して頂いた協会関係者の皆様に御礼申し上げます。（細川 記）

〈男子55歳以上〉細川・丸山、新井・井田の各選手

〈男子60歳以上の部優勝〉

薄氷を履む勝利

福寿 庸・飯岡 兼一組（夢見会）

本大会を運営してくださった横浜市テニス協会の皆様、本当にありがとうございました。

特に5月7日（土）、新横浜のハードコートで行われた試合は、雨により中断を余儀なくされましたが、再開にあたり、運営の皆様がコートの水をタオルで拭き取っていただいたおかげで、無事に試合を進めることができ、幸運にも私たちは優勝することができました。選手の安全を第一に考えていただいた、きめ細やかな運営に感謝しています。

今回の大会は、初戦から薄氷を履む勝利が続きましたが、なんとか勝ち上がることができたのは、ペアのおかげであり、普段練習してもらっている仲間のおかげです。

寄る年波で体力も年々落ちてきますが、健康スポーツであるテニスをこれからも続けていき、横浜市の試合にも参加させていただきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いします。（福寿 記）

〈男子60歳以上〉福寿・飯岡、垣原・川本の各選手

〈男子65歳以上の部優勝〉

最大の結果

池田 正道・岡部 繁組（TGレニックス）

始めに、この厳しい環境の中、本大会の運営に携わって頂いた関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

3年ほど前に膝の半月板を傷めてから試合に出るのは少なくなりましたが、市民大会だけはどうにか出続けている大会でした。

今回もまだ膝は本調子ではないので楽しめればいいかなというスタンスで臨んだのですが、ペアが頑張ってくれたおかげで最大の結果が得られました。

また、走れない私と一緒にテニスをし、応援してくれるクラブの仲間達には、とても感謝しています。これからも好きなテニスを長く続けていけるよう体力維持を目標に頑張っていきたいと思います。（池田 記）

〈男子65歳以上〉池田・岡部、中川・高座の各選手

〈男子70歳以上の部優勝〉

何とか粘って

岡本 明・小林 孝好組（サンプリッジTC本郷）

まず始めに、本大会を運営してくださった大会関係者に厚く御礼申し上げます。

今回70歳のクラスで優勝することができ、大変嬉しく思っています。

ペアを組んだ小林さんとは、65歳の時に初出場してベスト4になり、悔しい思いをしました。その後コロナ禍もあり大会に出場しなかったのですが、70歳になり久しぶりに出場することにしました。

日頃は同じクラブで、ゲームをすることがありますが、ペアを組んでゲームをすることはあまりなく、対戦することで、切磋琢磨しています。

今回は、運も良く、順調に勝ち進み、決勝までたどり着くことができ、何とか粘って優勝することができました。これからも、同クラブの皆さんとゲーム等で楽しく続けて行きたいと思っています。（岡本 記）

〈男子70歳以上〉岡本・小林、諏訪・東方の各選手

〈男子75歳以上の部優勝〉

頭が真白になりながら

鉢蝋 修・成田 繁雄組（IZUMI.TC）

コロナ禍の中、大会に携わった協会役員の方々に感謝申し上げます。今回は、肩の故障を抱えながらの戦いでした。頭が真白になりながら、パートナーに助けられ、優勝することができました。

これからは楽しみながらできるだけ長く試合に参加し、テニスライフを続けていきたいと思っています。最後に貴重な助言をくださったり、練習に付き合い頂いたテニスクラブの方々に感謝申し上げます。（成田 記）

〈男子75歳以上〉鉢蝋・成田、山崎・寺嶋の各選手

◎一般男子◎

3R QF SF F

- 市瀬・市瀬（ラック港南台TG） 64 / 清水・近藤（在住・てにんちゅ） 63
- 西渕・板津（とつかTC・在住） 56Ret. / 下司・鎌田（てにんちゅ）
- 四宮・中村（パナソニック・PFU横浜本社） 26 64 10-5 / 山下・村井（ENEOS中研・在住）
- 市川・笠原（とつかTC・在住） 75 62 / 櫻井・藤田（金沢高校OBOG会[南区]・とつかTC[南区]）
- 青木・国次（ウエスタンTC・在勤(GODAI港北)） 67(3) 62 10-7 / 鈴木・榎本（金沢高校OBOG会）
- 宇賀神・神谷（在勤・金沢高校OBOG会） 63 61 / 井田・長嶋（GODAI港北）
- 大滝・嶋田（あざみ野LTC） 63 61 / 山本・高橋（在住・在勤）
- 岩波・小澤（とつかTC） 61 64 / 西尾・倉部（在住・TOP横浜） 63 76(6)

QF: 61 61 / 56Ret. / 26 64 10-5 / 63 61 / 75 62 / 67(3) 62 10-7 / 75 64 / 63 61 / 63 61 / 61 64

SF: 62 63 / 46 63 10-8 / WO

F: 優勝 市川・笠原（とつかTC・在住）

◎男子35歳以上◎

QF SF F

- 藤田・伊瀬（メリオールTS） WO / 富樫・橋本（在住・WEST） 36 62 11-9
- 林・若松（在住・Naturally Tennis） WO / 小林・上田（ケンウッドTC） 36 63 10-6
- 山澤・河田（とつかTC・在勤） 63 61 / 伊藤・森田（金沢高校OBOG会・東芝横浜） 62 26 10-5
- 日野・田ノ澤（希望が丘TC） WO / 加賀美・小池（ラック港南台TG）

優勝 小林・上田（ケンウッドTC）

◎男子40歳以上◎

QF SF F

- 今江・伊藤（在勤(T.ジョワード株式会社)） WO / 飯沼・森戸（橘TA） 60 64
- 尾崎・河村（あざみ野LTC・ラック港南台TG） 63 63 / 松下・岡（エヌプランニング） 62 36 10-7
- 高木・大沼（ラック港南台TG・ザパス金沢八景） 62 62 / 奥田・阿部（在勤(株)セサミ)・とつかTC） 63 61
- 池田・横山（在住） 64 64 / 松下・原（東急あざみ野TG）

優勝 尾崎・河村（あざみ野LTC ラック港南台TG）

◎男子45歳以上◎

QF SF F

- 中谷・手塚（HCKS） 76(5) / 和智・小林（メガロス綱島） 36 14-12
- 河西・阿久津（ポーチ・亀の甲山TC） 63 / 濱・小板（朝練会） 63
- 池谷・板橋（ウエスタンTC・横浜市役所テニス部） 62 / 水野・九里（在勤） 61
- 境・宮（在住・ポーチ） 75 / 木村・中丸（Y球会・テニスプラザ戸塚） 63

61 62 / 76(7) 64 / 60 64

優勝 池谷・板橋（ウエスタンTC 横浜市役所テニス部）

◎男子50歳以上◎

QF SF F

- 松島・松丸（エヌプランニング） 75 / 宮下・金丸（テニスプラザ戸塚） 61
- 徐・金本（Team Coke・GODAI港北） 64 / 岡名・土橋（とつかTC・在住） 61
- 仙田・中本（朝練会） 67(5) 64 10-8 / 山口・長田（アレスマイスター・ケンウッドTC）
- 宇多・役川（Y'sTA・Team YUKA） 76(12) / 尾崎・岡田（在住・在勤） 62

63 62 / 60 62 / 64 61

優勝 山口・長田（アレスマイスター ケンウッドTC）

◎男子55歳以上◎

QF SF F

- 武石・伯耆（亀の甲山TC・ラック港南台TG） 81 / 大門・柏木（東急あざみ野TG・亀の甲山TC） 62 61
- 細川・丸山（亀の甲山TC） 83 / 久保田・石川（亀の甲山TC） 63 36 10-5
- 依田・持田（エヌプランニング） 83 / 新井・井田（アレスマイスター） 46 61 12-10
- 笹島・大石（YITC） 97 / 伊村・田村（在住）

優勝 細川・丸山（亀の甲山TC）

◎男子60歳以上◎

QF SF F

- 萩原・門田（Vamos） 83 / 村田・藤原（Vamos） 62 64
- 福寿・飯岡（夢見会） 84 / 石田・山本（在住） 61 63
- 木村・金澤（ワールドTC） 84 / 太田・市川（下川井TC） 62 26 10-3
- 藤田・小沢（東芝横浜テニス部・東芝横浜） 81 / 垣原・川本（希望ヶ丘TC・ラック港南台TG）

優勝 福寿・飯岡（夢見会）

◎男子65歳以上◎

SF F

- 中川・高座（在勤） 63 / 小沼・増子（ユニークス本牧） 75 26 10-6
- 池田・岡部（TGレニックス） 63 / 横井・大岡（在住・YITC） 76(4)

優勝 池田・岡部（TGレニックス）

◎男子70歳以上◎

SF F

- 諏訪・東方（テニスプラザ戸塚・亀の甲山TC） 61 / 松原・阿部（在住） 61
- 岡本・小林（サンブリッジTC本郷） 63 / 井口・仲本（TGレニックス） 62

36 76(7) 10-6

優勝 岡本・小林（サンブリッジTC本郷）

◎男子75歳以上◎

SF F

- 山崎・寺嶋（TGレニックス） 75 / 石川・廣田（YITC） 62
- 秋澤・田中（YITC） 63 / 鉢蝋・成田（IZUMI.TC） 60

63 61

優勝 鉢蝋・成田（IZUMI.TC）

◎一般女子◎

QF SF F

- 串間・ラグティン（亀の甲山TC） 64 / 原・市川（ケンウッドTC[鶴見区]） 63
- 髙木・土屋（横浜スポーツマンクラブ・在住） 62 / 鈴木・山本（ASP港南台TS・GODAI白楽） 62
- 野平・二ノ宮（在住） 63 26 10-3 / 石井・大津（在住）
- 小林・村田（在住・GODAI港北） 61 / 坂野・森野（在住） 62

62 64 / 60 63 / 62 64

優勝 鈴木・山本（ASP港南台TS GODAI白楽）

◎女子40歳以上◎

SF F

- 山内・三浦（在住・ウッドテニス） 62 57 10-7 / 高野・河村（在住 TIIDA）
- 下田・平沼（在住・横浜スポーツマンクラブ） 61 / 宮・新美（ポーチ・希望が丘TC） 61

61 62

優勝 高野・河村（在住 TIIDA）

◎女子45歳以上◎

QF SF F

- 梅田・松尾（在住・瀬谷グリーンTC） 80 / 金本・二階堂（Ampersand TA） 61 63
- 岩下・清家（Team Coke・TAS） WO / 丸山・安部（在住）
- 木次・寺内（Vamos・TAS） WO / 東條・神田（在住・Team Coke） 62 62
- BYE / 寺田・村田（Team Coke） WO

63 61

優勝 梅田・松尾（在住 瀬谷グリーンTC）

◎女子50歳以上◎

QF SF F

- 小林・佐々木（ワールドTC） 80 / 大曲・大久保（横浜スポーツマンクラブ） 63 60
- 鬼塚・三枝（在住） 84 / 中田・忍足（在住・ユニークス本牧）
- 横山・坂井（横浜グリーンTC・新横浜PHITC） 86 / 花田・仙田（松原TC横浜・在住） 63 63
- 今井・馬庭（横浜スポーツマンクラブ・在住） 84 / 山川・宇多（IZUMI.TC・Y's T.A）

60 62

優勝 小林・佐々木（ワールドTC）

◎女子55歳以上◎

QF SF F

- 泉・長谷場（松原TC横浜） 98(6) / 金子・大野（ケンウッドTC・在勤） 57 60 10-8
- 関・高橋（松原TC横浜） 85 / 本間・宇藤（テニスプラザ戸塚）
- 信近・東方（下川井TC・KMG TS） 86 / 中村・関（横浜ガーデンTC・あざみ野LTC） 64 63
- 松田・藤井（在住・横浜スポーツマンクラブ） 97 / 白川・千葉（ラック港南台TG）

60 63

優勝 関・高橋（松原TC横浜）

◎女子60歳以上◎

SF F

- 山内・西間木（テニスプラザ戸塚・松原TC横浜） 75 60 / 柴田・百瀬（横浜スポーツマンクラブ）
- 石崎・十河（ユニークス本牧・team WEST） 60 76(7) / 古川・小野里（希望が丘TC） 64 76(4)

優勝 山内・西間木（テニスプラザ戸塚 松原TC横浜）

◎女子65歳以上◎

SF F

- 木村・畠山（松原TC横浜・ユニークス本牧） 61 61 / 杉山・小室（希望が丘TC）
- 宮原・大串（サンブリッジTC本郷・横浜スポーツマンクラブ） 63 64 / 鈴木・和田（ヨコハマクラブ・ユニークス本牧）

63 64

優勝 宮原・大串（サンブリッジTC本郷 横浜スポーツマンクラブ）

〈女子40歳以上の部優勝〉

紙一重の試合の連続

高野 陽子・河村 直子組（在住・TIIDA）

はじめに、今大会を開催、運営下さいました横浜市テニス協会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今大会は一戦一戦が実力のある方々との対戦で、勝負が紙一重の試合の連続でしたが、なんとか勝ち進み、優勝という結果で終わることが出来ました。

日頃、レッスンや練習して下さるコーチ、友人、そして家族のお陰だと思っています。本当に感謝です。これからも、今までのようにテニスを続けていき、また試合に挑戦できるように、練習に励んでいきたいと思っております。（高野 記）

〈女子40歳以上〉高野・河村、宮・新美の各選手

〈女子45歳以上の部優勝〉

なんとかなるさと思いながら

梅田 真由美・松尾 あゆみ組（在住・瀬谷グリーンTC）

何年前からか怪我に悩まされる事が多く、エントリーするかとても迷いましたが、無理せずできる範囲内でプレイすると決めて出場することにしました。

大会が始まると、どの試合を観てもナイスプレイばかりで、気持ちの強さに心動かされました。私にはあんな風にできないかもしれないけれど、練習してきた事をやってみよう、二人で話し合いながら楽しくテニスができればなんとかなるさと思いながら、厳しい場面を何とか乗り切って優勝することができました。

今後は健康第一に向上心を忘れないでテニスを続けていきたいと思います。

そしていつも応援して下さる瀬谷GTCの皆様、指導して下さるリーファTGのコーチ、練習メンバー、パートナーの梅田さんに感謝したいと思います。

最後に、大会を運営して下さった、横浜市テニス協会関係者の方々に心から御礼申し上げたいと思います。（松尾 記）

〈女子45歳以上〉梅田・松尾、寺田・村田の各選手

〈女子50歳以上の部優勝〉

初ペアでのチャレンジ

小林 美幸・佐々木 美香組（ワールドTC）

まず始めにコロナ禍の中、本大会を開催してくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。

私の練習環境が大きく変わり、とても素晴らしい仲間との出会いがありました。その中で、向上心をもって練習に取り組み成果を出すべく、練習仲間で尊敬する佐々木さんとのチャレンジ!!

一戦一戦お互いに話し合い励まし合いながら全力でプレーをした結果、優勝することができとても嬉しく思います。

一緒に頑張ってくれたペアに感謝いたします。そして普段から練習してくれる仲間やコーチに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも日々精進していきたいと思います。（小林 記）

〈女子50歳以上〉小林・佐々木、今井・馬庭の各選手

〈女子55歳以上の部優勝〉

集中を切らさず

関潔 美・高橋 誠子組（松原TC横浜）

まず始めに、コロナの収束の兆しが見えてきたもののまだまだいろいろな安全対策に配慮の上、企画、運営をして下さった横浜市テニス協会の関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今回は初戦から決勝までどの試合も厳しい試合でした。どちらかというと淡白でミスの早い私達ですが、今回は集中を切らさず乗り越えることができたのは大きな収穫でした。そしてまさか優勝できるとは思っていなかったので本当に嬉しい結果でした。

最後になりますが、いつも良い環境を提供してくださっている松原TC，練習、応援して下さるクラブの皆様、友人に感謝申し上げます。

（高橋 記）

〈女子55歳以上〉関・高橋、信近・東方の各選手

〈女子60歳以上の部優勝〉

諦めないテニス

山内 文子・西間木 純枝組（テニスプラザ戸塚・松原TC横浜）

始めにコロナ禍が続いている中、今大会を開催していただき協会関係者の皆様有り難うございました。

第1シードのプレッシャーもありドキドキしながらの全試合でした。決勝は2セット目相手にペースを掴まれ、私達のテニスができなくなってしまいました。その中でも何とかしようと2人で話し合い苦しみましたが逃げ切ることができました。

日頃から練習して下さるクラブの方、コーチ本当に有り難うございました。まだまだ未熟な私達ですが、これからもテニスを楽しみながら練習して前進していきたいと思います。（山内 記）

〈女子60歳以上〉山内・西間木、石崎・十河の各選手

〈女子65歳以上の部優勝〉

できることを無理せず楽しく

宮原 章子・大串 佳代組（サンブリッジTC本郷・横浜スポーツマンクラブ）

始めにコロナ禍の状況の中、大会運営にご尽力いただきました横浜市テニス協会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

雨の中ボールは重く雨に濡れながらの初戦になりました。今年はペアと二人65歳になりたて。60歳なりたての時は準優勝に終わっていたので、今回はパートナーと対策を話し合い、できることを無理せず楽しく自分らしいテニスをしようと望みました。いつも応援、練習してくださるクラブの皆様に感謝いたします。ありがとうございました。（大串 記）

〈女子65歳以上〉宮原・大串、木村・畠山の各選手

第72回 横浜市実業団対抗テニス

男子優勝：横浜市役所C（4度目）、女子優勝：三菱ケミカルSIC A（9度目）

2020年春季大会から2021年秋季大会までの4大会を、大会期間中の新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の発出により中止していましたが、今年の3月から6月にかけて第72回横浜市実業団対抗テニスを3年ぶりに開催しました。成績は1部リーグにおいて、男子:横浜市役所C（4度目）、女子:三菱ケミカルSIC A（9度目）が優勝しました。

秋季の神奈川県実業団対抗テニスリーグ第68回（女子第30回）では、横浜代表チームは、男子1部:横浜市役所Aが3位、女子1部:横浜市役所が3位、の成績でした。

第73回横浜市実業団対抗テニスは8月末から12月まで開催中で、男女合わせて65チームが市営公園コートや事業所コートなどで優勝を目指し競っています。

【第72回横浜市実業団対抗テニス大会の成績】

（各部の優勝チームのみ記載）

●R4年3月～6月　参加65チーム（男54＋女11）

●R4年度運営事務局：ボッシュ

《男子優勝（部別）》	3Ｂ：メイテック
1部：横浜市役所C	4Ａ：三菱ケミカルSIC-B
2Ａ：野村総合研究所B	4Ｂ：AGC中研A
2Ｂ：ブリヂストンB	5Ａ－Ｃ：NTTデータMSE B
3Ａ：横浜市役所D	5Ｄ－Ｇ：神奈川県庁かなふぅ

《女子優勝（部別）》	2部：千代田化工
1部：三菱ケミカルSIC A	

★大会の結果については協会ホームページに詳しく掲示されています。

第59回 横浜市団体テニストーナメント

［一 般 男 子優勝］Naturally Tennis　　［一 般 女 子優勝］とつかTC
［シニア男子優勝］Team Coke（オヤジ組）　　［シニア女子優勝］HCKS

令和4年度第59回横浜市団体テニストーナメントは7月1日から31日まで延べ101組のチームが参加して行われました。

おかげさまで悪天候による遅延はなく全日程を終了しました。今年は台風が心配されたのですが、直撃にもかかわらず、1日を通じて霧雨程度の雨だったので無事に試合を消化することができました。

昨年から賞品を商品券にさせていただきましたがそれも好評でした。団体戦はメンバー集めなど他の試合とは違う難しい部分もあるとは思いますが、毎年楽しみにしてくださるチームもありますので、今後も皆様に喜んでいただけるような運営をして行けたらと思っております。ご意見ご希望等ありましたら協会までどうぞよろしくお願いいたします。　（団体戦競技委員長 高杉絹子）

一般男子の部優勝：Naturally Tennis

目指せ4連覇!!

まず始めに、このような環境の中、本大会を運営いただいた大会関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

毎週一緒に練習をしているメンバーと力を合わせながら一戦一戦勝ち抜き3連覇できたことを、非常に嬉しく思います。特に決勝戦では拮抗した試合が多く、選手・応援が一体となって勝利した瞬間、団体戦ならではの緊張感と面白さを改めて実感することができました。

私は今大会、元気・円陣での盛り上げはチームNo.1でしたが、敗戦数もNo.1となってしまいました。来年はもっと強くなり、勝利数もNo.1にして「賀川様助かった!」と言ってもらえるよう、今後の練習も精進します。

来年以降も連覇を目指し、チーム一丸となってレベルアップした状態で大会を盛り上げていきたいです。

最後に、メンバーの皆さん!今年は本当に助かりました! ありがとうございます! 来年は俺について来い! 目指せ4連覇!!　（賀川記）

一般女子の部優勝：とつかテニス

週末に汗を流す仲間と2連覇

まず初めにコロナ禍の中、大会を開催していただいた横浜市テニス協会役員、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

また今大会出場にあたり、様々なサポートをしていただき今の環境を与えてくださるクラブオーナーに感謝申し上げます。ありがとうございます。

今年は新メンバーも加わり、週末一緒に汗を流す仲間と2連覇を目指してエントリーしました。2連覇はプレッシャーもあり緊張しましたが、心強いメンバーとクラブの方々の応援のおかげで、楽しくいいプレーに繋げることができました。

来年は3連覇を目指して、さらにチームの団結力を上げて練習に励み、この大会を盛り上げていきたいと思います。　（山澤 記）

シニア男子の部優勝：Team Coke（オヤジ組）

メンバー選出は贅沢な悩み

まず昨年同様困難な状況下でも安全に開催、運営頂いた協会の皆様に感謝申し上げます。

昨年の優勝メンバーに今年参加資格に達した2名が加わったため、チーム内の競争は激しさを増し、普段の練習会から「レギュラー決まってると思ってない?」「お前は補欠だな」との声が飛び交うほどでした。また皆積極的に参加表明してくれたので、メンバー選出は贅沢な悩みとなりました。が、試合の方は簡単ではなく接戦に続く接戦で、あの試合落としていたら、あのポイントが取れていなかったらと冷や冷やものでした。

優勝賞品である商品券は、あみだくじに続くジャンケン決勝戦を制した1名が全額持って行きました。来年も優勝して総取りジャンケン大会を開催したいと思います。

団体戦は本当に楽しく、石川町の「王将」や環2沿いのラーメン屋での試合後反省会も醍醐味の一つで、第7波が収束した後に開かれる祝勝会も楽しみでなりません。ですが、来年への競争もすでに始まっています!　（金本 記）

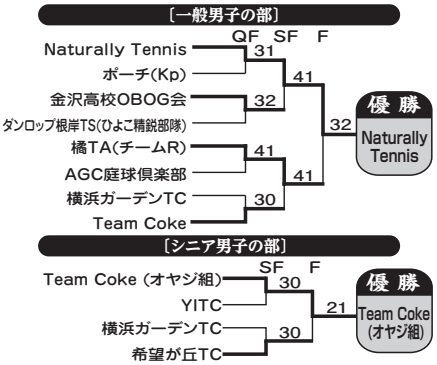
シニア女子の部優勝：HCKS

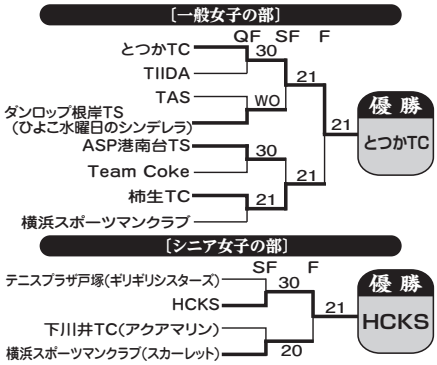
楽しもう!!

コロナ禍が続く中、感染予防対策を実施いただき、大会開催にご尽力いただいた横浜市民テニス協会関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今年度、団体戦シニアの部は初参戦でした。チームの皆さんとは練習の場がそれぞれ異なり、テニスコートが取れたら一緒に練習していただいたり、またお声がけいただいたり、楽しくプレーをさせていただいています。

初参戦ということから、「楽しんで頑張ろう!」が合言葉、試合前には登録メンバーからの温かいメッセージもあり、いざ試合へ。各ペア緊張感もありましたが、ゲーム毎のメンバーからのアドバイスでよりリラックス且つ楽しんでプレーできました。何と言いましても団体戦ならではの応援の力も一戦一戦の勝利に繋がり、終わってみれば優勝という素晴らしい結果になりました。ありがとうございました。　（真壁 記）





［一般男子の部準優勝］橘TA(チームR)

［一般女子の部準優勝］柿生TC

［シニア男子の部準優勝］希望ヶ丘TC

［シニア女子の部準優勝］横浜スポーツマンクラブ（スカーレット）

横浜市民スポーツ大会テニス競技

第14回 横浜親子ダブルストーナメント

――3年ぶりに開催――

8月7日(日)、8月21日(日)の2日間、小学生3年生以下から高校生以下までの9種目に104組が参加。初日は本牧市民公園(小学生以下・中学男子)と長浜公園(中学生・高校生)で実施。

決勝大会の13日(土)は台風8号関東通過により21日(日)山手公園に順延して実施し、全種目を終了することが出来ました。

2020年と2021年は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の発出により中止していましたので、3年ぶりの開催でした。

コート上では暑さにめげず、家族の声援をもらいつつ、親子選手の息の合った、好試合が行われました。

今回も、第1回大会から実施している、協賛会社様提供(ペアテニス宿泊券、テニスグッズなど)の賞品抽選会と本牧市民公園コートでは、テニスレッスン(3回で70名以上参加)のイベントも盛り上がりました。

横浜開港150周年を機にスタートしたこの大会は今年で14回目。全国でも数少ない親子ダブルス大会を、家族ぐるみで楽しみにされている方も増えてきました。少子化時代と言われていますが、これからもテニス発祥の横浜の名物イベントとして、継続して開催していきますので、親子の夏の思い出づくりに、ぜひ来年もたくさん参加していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(親子ダブルス競技委員長 大村幸雄)

小学3年生以下父親の部 優勝　金メダルをゲット
川島 学・櫂(在住)

まず始めにコロナ禍で大会運営が大変な中、3年ぶりとなる親子ダブルス大会を開催してくださった横浜市テニス協会の皆様にお礼申し上げます。

今回小学一年生になった息子と大会に参加させていただきました。3月に東京から横浜へ引っ越してきたため、大好きだった東京のテニススクールを辞めてからは、横浜の新しいスクールに慣れずに辞めてしまい、家族で公園やコートをとって練習し、初めての試合に向けて準備をしました。

大会当日は受付に置かれていた金メダルを見ると、「かっこいい。僕これ欲しい。」と目を輝かせて感動していました。初戦は親子共々緊張しましたが、息子の人生初勝利を果たし、とても貴重な場を一緒に体験出来ました。

決勝戦は途中泣き出すこともありましたが、最後に大事なポイントで息子がナイスリターンを決め、タイブレークの接戦を制し、金メダルをゲットしました。来年、再来年と連覇出来るよう今後も練習に励みたいと思います。　(学 記)

[小学3年生以下父親] 川島親子、今野親子の各選手

小学3年生以下母親の部 優勝　やっと試合ができて
小林 亜沙美・杏菜(在住)

コロナ禍の中、本大会を企画運営してくださった大会関係者の皆様に心より御礼申し上げます。お陰様で娘と同じテニスコートで試合する夢を叶えることができました。

暑い中で長い時間テニスコートに立ったことのない娘の体力が心配でしたが、Ampersand Tennis Academyや横浜ガーデンテニスクラブの皆さまに鍛えていただいた成果を優勝という形で残すことができて大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。　(亜沙美 記)

コロナで試合に出られなかったので、やっと試合ができて嬉しかったです。初めて出た試合で、ルールを守っていつも通りプレーできるか心配でとても緊張しました。

試合では、相手が深い球や左右など打ちづらいところばかりに打ってくるのでうまく打てませんでした。しかし、祖父や母にミスを恐れずしっかり打ち込むことを教わってきたのでエースを取ることもでき、優勝できてとても嬉しかったです。

(杏菜 記)

[小学3年生以下母親] 小林親子、加藤親子の各選手

小学6年生以下父親の部 優勝　お兄ちゃんに続き
佐藤 仁則・高虎(在住)

コロナ禍の中、親子ダブルスを開催して頂いてありがとうございました。

この大会は10年前にお兄ちゃんとお父さんが優勝していたので僕もお父さんと優勝出来てとても嬉しかったです。試合前はダブルスの練習をたくさんしました。特にボレーを練習しました。試合ではミスもしましたが良いポイントも取れたので良かったです。

いつも丁寧に教えてくれる葉山TCのコーチ達、一緒に練習してくれるチーム葉山の仲間に感謝します。これからも頑張ります。　(高虎 記)

[小学6年生以下父親] 佐藤親子、安部親子の各選手

小学6年生以下母親の部 優勝　優勝と息子の成長
岡部 智子・大和(在住)

まずはじめに、今大会の運営に携わって頂いたテニス協会役員の皆様に心より感謝申し上げます。

昨年、初めてエントリーをさせていただきましたが残念ながらコロナの影響で中止になり、今回は台風で延期などもありましたが最後まで試合が出来たのも運営の方々のおかげだと思っております。

最後まで2人で楽しもうという目標で初めて親子ダブルスの試合に出ましたが、まさかの優勝という結果と息子の成長も感じられ、本当に良い思い出となりました。ありがとうございました。

(智子 記)

[小学6年生以下母親] 岡部親子、松下親子の各選手

中学生以下父親の部 優勝　来年は高校の部にチャレンジ
三島 健介・宏介(在学(聖光学院中学))

始めに今大会を開催、運営して頂いた横浜市テニス協会関係者の皆様にお礼申し上げます。そして、一緒に練習をしてくれる仲間、練習に送り出してくれる家族、親父に付き合ってくれた息子に感謝です。

子供と出場できる大会、一緒に練習を出来る時間は少なく、もうしばらく楽しみたいと思います。隣で行われていた高校生の部の試合は更にレベルが高く、親子共々レベルアップを図り、来年チャレンジしたいです。　(健介 記)

私はダブルスの経験が少なく、シングルスの練習・試合が多かったため、始めはダブルスの基本が分からず、この大会に向けて練習を行いました。練習を重ねることで、少しずつダブルスの動きなどが分かるようになり、次第にダブルス

[中学生以下父親] 三島親子、古賀親子の各選手

をすることが楽しくなりました。しかし、大会に参加することで、課題が多いと実感でき、課題は伸び代だと捉え、これからもテニスを続けていきたいと思います。（宏介 記）

中学生以下 混合の部 優勝 一生の大切な思い出
大竹 正浩・莉緒（在住）

これまで楽しくのんびりとスクールに通っていた娘ですが、中学校のテニス部入部を機に「強くなりたい」という意識が芽生えてきました。

真っ黒に日焼けをし、悩んだり時には涙を見せながらも練習に励む娘を応援したい…しかし、いざ一緒に練習すると、そこは反抗期真只中。ついつい親子喧嘩になってしまうことも日常茶飯事です。

そんな中本大会に出場。緊張もしましたが成長を感じられ、娘にとってテニスの楽しさを改めて知る機会になったのではないかと思います。私たち親子にとって一生の大切な思い出となりました。

このような素晴らしい機会を与えてくださった運営の皆様に感謝申し上げます。これからも親子で成長していけるよう努力していきたいと思います。（正浩 記）

［中学生以下混合］大竹親子、安藤親子の各選手

高校生以下 男子の部 優勝 自分が爺になっても
小林 穂高・白（Naturally Tennis）

横浜市民大会には私が高校時代から出ており、横浜選抜室内では元デ杯選手と試合を組んでいただいたり、若い時から多くの経験をさせていただきました。

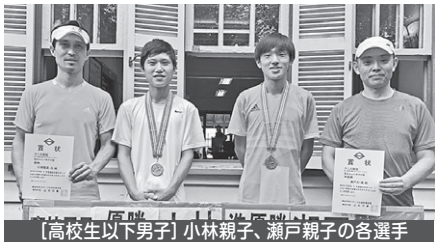
それから早30年。まさか、高校生の息子とダブルスを組んで横浜市民大会に出るとは、30年前は全く考えられませんでした。

子供たちの成長は著しく、親の体力や技術の低下は下げ止まらない、なかなか寂しい今日この頃ですが、それでも今日楽しくテニスができることに、喜びを感じています。

次の目標は、祖父&孫ダブルスの優勝です。まだ企画されていないと思いますが、もちろんまだ孫はいませんが、自分が爺になっても、サービスエース取れるよう鍛錬します。

会長の日下さんを始め、横浜市テニス協会の役員の方々には、本当に長年お世話になっており、大変感謝しております。

いまだに伸び代だらけの未熟なテニスですが、これからも身体が動く限り技術を磨いて、大会に出たいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。（穂高 記）


［高校生以下男子］小林親子、瀬戸親子の各選手

高校生以下 女子の部 優勝 心より感謝
濱須 圭子・月葉（あざみ野LTS）

今大会を開催、運営してくださった横浜市テニス協会ならびに大会関係者のすべての皆様に感謝申し上げます。

この数年コロナ禍において、娘の活躍の場を間近に見る機会を得られない中で、一緒に試合に参加し、精神的にも技術的にも成長した娘の姿に接することができたことは私にとりまして大変な喜びとなりました。

また娘にとっても、粘り強い相手と共に技術を競い合い思い出に残る結果で終われたことは貴重な経験でますますテニスの素晴らしさに惹かれる機会になりました。

お陰様で、夏らしい青空の下、試合中はもちろん試合後の反省会も楽しい時間を過ごすことができました。このような機会をいただき心より感謝しております。ありがとうございました。

（圭子 記）

［高校生以下女子］濱須親子、関親子の各選手

高校生以下 混合の部 優勝 前回優勝した時は小学生
長井 久仁子・佑真（YSC）

ついに3年ぶりに開催された親子ダブルス。主催者の方々には本当に感謝しております。

前回優勝した時は小学生だった息子が気づけば高校生。隣にいて惚れ惚れするようなショットに、成長を感じずにはいられませんでした。思春期で顔出し写真NGということで、協会ニュースには一緒に載ることができませんでしたがいい思い出になりました。

親子ダブルスに参加するようになって、家族ぐるみでテニスをする仲間に出会えた事が一番良かった事と思っています。

中高生は思春期で難しい年頃ですが、親子ダブルスを通してコミュニケーションをとるいいきっかけにもなるので、これからもこのような大会を続けていただけたらと思っています。

（久仁子 記）

［高校生以下混合］長井親子、剱物親子の各選手

◎小学3年以下父親◎

SF F
- 岡 秀明・絢斗（在住） / 今野 良昭・翠月（在住） 62
- 川島 学・耀（在住） / 吉田 秀明・紗瑛（ラック港南台TG） 61
- 76(4)

★優勝★ 川島 学・耀（在住）

◎小学3年以下母親◎

SF F
- 能 可南子・楓太（ポーチ・Ampersand Tennis Academy） / 加藤 裕美子・裕翔（在住） 62
- 兼古 優子・真宏（在住・在学(末吉小学校)） / 小林 亜沙美・杏菜（在住） 76(3)
- 76(6)

★優勝★ 小林 亜沙美・杏菜（在住）

◎高校生以下男子◎

SF F
- 瀬戸 大・嵐（在住） / 免出 長久・陽 76(6)
- 小林 穂高・白（Naturally Tennis） / 橋本 進也・俊介（在住） WO
- 75

★優勝★ 小林 穂高・白（Naturally Tennis）

◎小学6年以下父親◎

SF F
- 佐藤 仁則・高虎（在住） / 岡 秀明・葵衣（在住・YSC） 64
- 安部 大輔・陸（在住） / 鈴木 智章・理仁（在住・ダンロップTS根岸） 61
- 61

★優勝★ 佐藤 仁則・高虎（在住）

◎小学6年以下母親◎

SF F
- 和田 葉・晴（在住・ラック港南台TG） / 松下 典子・花凛（在住） WO
- 岡部 智子・大和（在住） / 加藤 裕美子・遙希（在住） 62
- 63

★優勝★ 岡部智子・大和（在住）

◎高校生以下女子◎

※中学生以下・女子の部は2ペアのため高校生以下・女子の部に繰り上げました。

SF F
- 濱須 圭子・月葉（あざみ野LTS） / 渡邉 ひろみ・早苗（在住） 60
- 関 亜矢子・末夢（塚本TC・塚本TC(中学生)） / 鶴田 由香利・美咲（在住） 62
- 64

★優勝★ 濱須 圭子・月葉（あざみ野LTS）

◎中学生以下男子◎

SF F
- 古賀 丈支・巧視（在勤・YSC） / 安田 真・悟（Signsjam） 63
- 武富 孝治・ジョジ（なし・在学(矢向中学校)） / 三島 健介・宏介（なし・在学(聖光学院中学校)） 60
- 75

★優勝★ 三島 健介・宏介（なし・在学(聖光学院中学校)）

◎中学生以下混合◎

	安藤ペア	大竹ペア	戸畑ペア	順位
安藤 義浩・美結（在住）		63,46,3-7 ×	WO ○	2 1勝1敗
大竹 正浩・莉緒（在住）	3-6,64,7-3 ○		WO ○	1 2勝0敗
戸畑 洋介・琴葉（在住）	WO ×	WO ×		3 0勝0敗

◎高校生以下混合◎

SF F
- 剱物 健太郎・若菜（本郷台テニス同好会） / 清野 兼司・世莉（在住・Ampersand Tennis Academy） 60
- 菅原 郷史・那奈（在住） / 長井 久仁子・佑真（YSC） 60
- 63

★優勝★ 長井 久仁子・佑真（TSC）

第18回 都市間交流スポーツ大会(横浜大会)

今年は横浜が会場となり、7月9日(土)、10日(日)に本牧市民公園テニスコートで開催しました。初戦から強敵(宿敵?)神戸市との対戦になりましたが、一般女子ダブルスが完勝しチームに勢いをつけ、残る対戦も接戦をものにし4−3と勝利を勝ち取り翌日の決勝へとこまを進めました。

決勝戦は一般女子に実業団選手をそろえる大阪市との対戦になりました。ベテラン女子の梅田・松尾ペアとチームキャプテンの一般男子シングルス市瀬選手が勝利しましたが、残念ながらチームは2−5で負け、結果は準優勝となりました。

連日猛暑の中、横浜市代表選手の皆さんは灼熱のコートの中で素晴しいパフォーマンスを発揮してくれました。全チームけが人など出すこともなく無事に大会を終えることができたのも、事前準備(テント設営・弁当・飲料・宿泊手配など)から当日の進行など万全の態勢で対応いただいた、横浜市テニス協会協会役員と審判の皆さんのおかげと強く感じました。

また、他都市の監督・選手からも「丁寧な対応に感動しました」など、労いのお言葉をたくさんいただきました。

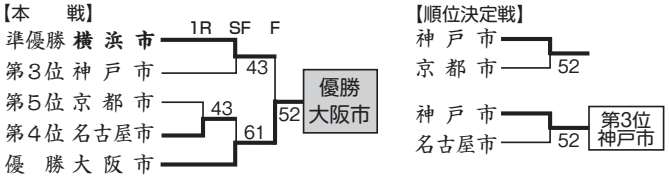
来年は神戸市での開催となります。しばらく優勝から遠ざかっているので、来年こそ優勝杯を横浜に持ち帰りたいと思います。

(横浜市監督　岡﨑崇徳)

参加選手・監督マネージャー

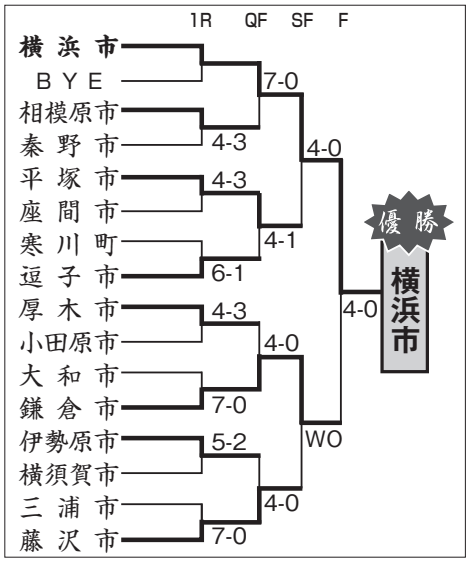
監督：岡﨑崇徳(リコー)、マネージャー：石崎勇太(GODAI)
一般男子：市瀬知輝(ラック港南台TG)、市川寛康(とつかTC)、笠原翔(在住)
一般女子：山本理佳(GODAI)、鈴木未来(ASP港南台TS)、大津麻友(在住)
男子45歳以上：池谷智隆(ウエスタンTC)、板橋マリオ(ウエスタンTC)
女子45歳以上：梅田真由美(リーファTG)、松尾あゆみ(瀬谷グリーンTC)
男子55歳以上：細川慎一(亀の甲山TC)、丸山琢磨(亀の甲山TC)

[第18回都市間交流スポーツ大会テニス競技結果]



【順位決定方法】初戦敗戦都市同士の対戦を行い、勝率の高い都市を3位とする。

2022年度神奈川県都市対抗テニス大会



本年の都市対抗は全国大会が開催されない異例の年となりましたが、県テニス協会より各市町村の交流も図るべく、県大会のみという形で開催されました。

初戦はBYE、2回戦は接戦を勝ち切った相模原市とでしたが、7−0で勝利。翌日のSF平塚市と対戦し4-0(打ち切り)、反対ブロックは鎌倉市対藤沢市でしたが藤沢市がDEFとなり決勝戦は鎌倉市との対戦になりました。

結果、鎌倉との決勝戦を4-0(打ち切り)で勝利し県大会2連覇を達成いたしました。

コロナ禍の中、怪我や病気などなく優勝を飾ることができたのも、大会役員の方の徹底した感染対策のおかげと感じております。また、各選手も大変な中練習や試合に励んだことが本大会でも十分発揮することができ、初戦から決勝戦まで1つの対戦も落とすことなく完全優勝となりました。

来年は佐賀県で全国都市対抗を開催予定です。まずは県3連覇を目指し「強い横浜!」を復活させられるよう頑張ってきたいと思います。　(横浜市監督 岡﨑崇徳)

参加選手・監督マネージャー

監督：岡﨑崇徳(リコー)、マネージャー：石崎勇太(GODAI)
一般男子：喜多元明(リコー)、小林雅哉(リコー)
一般女子：髙橋玲奈(リコー)、原口沙絵(リコー)、大橋麗美華(慶應大学)
男子45歳以上：岡﨑崇徳(リコー)、長田直樹(ウッドテニス)
女子45歳以上：梅田真由美(リーファTG)、松尾あゆみ(瀬谷グリーンTC)
男子55歳以上：臼井武士(テニスプラザ戸塚)、高塚浩文(テニスプラザ戸塚)

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会

ジュニア競技力向上事業テニス合同・強化練習会は、(公財)横浜市スポーツ協会主催で毎年夏休み期間中に実施しています。

練習会の運営を手伝っている横浜市テニス協会も次世代を担うジュニアの育成には、精力的に取り組んでいます。今年度の練習会は、コロナ禍で感染拡大防止策を徹底して7月23日から6日間実施しました。今年度は合計6日間で小学生から高校生まで計67名(延べ363名)の選手に参加していただきました。

コーチには、元デ杯選手の田辺正特別コーチを筆頭に、リコー実業団チームの現役選手やテニスクラブコーチ等、横浜市トップクラスの方にご協力いただきました。参加したジュニアの皆さんは、何かを学んで帰ろうと暑さの中で、集中して一生懸命ボールを追いかけていました。この練習会の経験を今後の試合や技術力の向上に活かしていただければ幸いです。練習会に参加した選手はもとより保護者の皆様にも感謝のお言葉をいただき大変うれしく思いました。

参加いただいた選手の皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。また、お忙しいところ選手の指導にあたっていただいたコーチの皆様、本当にありがとうございました。

感染状況が落ち着いて来年も練習会を実施できることを祈っています。来年も皆様のご参加をお待ちしています。

第17回春季シニアテニス教室

第17回春季シニアテニス教室はR4.4月5日～6月7日まで全8回(内1日雨天)全て火曜日、長浜公園テニスコートに於いて開催されました。第15回・16回は新型コロナ感染拡大により中止を余儀なくされましたが、第17回の募集を行ったところ15名の応募者が有り、コートを3面から2面に縮小し開催する事になりました。

参加者年齢、最高齢81歳(男子)・最年少59歳(女子)・平均年齢70歳というシニアテニス教室に相応しく、8回を通して欠席者1名だけという出席率の高さでした。

倉田コーチを中心に新井・芳垣・遠藤・中野・鬼塚(神奈川県普及指導委員)の皆様にご協力いただき、指導の基本を設け①必ずウオーミングアップをする、②スピンよりコントロール重視、③無理をしない・頑張りすぎない等、更にコーチの特徴を生かした指導内容を加え充実したレッスンになりました。

毎回の参加者確認表の提出、新型コロナ感染防止対策を行いながらでしたが1人の感染者もけが人もなく終了出来た事は偏に皆様のご協力の賜物と感謝しております。

1日も早くコロナの終息を願うばかりですが、予防を怠ること無く、上手に付き合いながらテニスを楽しむ生活になって来た様に思います。

(入澤 記)

テニスルール 審判員実技研修会

2022年前半のテニスルール・審判員実技研修会は6月26日潮田公園コートで行われました。

当日は座学の後、梅雨上がりの強烈な暑さの中、将来有望な高校生も含め多数の参加者がプレーを楽しみながら暑さを跳ね退けるように熱心にオンコートでの審判実技;SCU(ソロチェアアンパイア)の研修を行いました。受講の皆さんには引き続いて次のステージでの審判活動を期待しています。

次回は10月9日日ノ出公園コートで行います。多数の皆さんの参加をお待ちしています。

テニススクール実施中

◎(公財)横浜市スポーツ協会主催のテニス教室

新横浜テニスコートで実施。　コートサーフェスはUSオープンで使用されているものと同じデコターフです。詳しくは当協会のホームページをご参照下さい。

横浜市テニス協会の100周年記念事業のお知らせとお願い

横浜市テニス協会は1922年(大正11年)に設立されて以来、各種大会運営をはじめテニス教室等、様々な活動を行い横浜のテニス発展に努めて参りました。今年の2022年(令和4年)には、めでたく創立100周年を迎えることとなり、記念事業として記念誌の発行をはじめ、記念イベントや記念式典の開催を予定しておりました。しかし、コロナ禍の影響のため各種記念事業は来年の2023年(令和5年)に延期する事と致しました。

1 100周年記念誌の発行

☆記念誌の主な構成はテニスが我が国に伝来し、普及、発展してきた歴史を振り返り、協会が果たしてきた実績等をまとめ、各種大会・イベント等の実施内容やテニスの普及発展に貢献されてこられた方々の紹介や各加盟団体の活動状況の紹介をさせて頂く予定です。そのため、加盟団体の皆様には団体紹介の原稿及び写真等のご提供をお願いして回答をいただきましたので、100周年記念誌に相応しく充実した内容として取りまとめているところです、ありがとうございました。

☆100周年記念誌に相応しい充実した内容とするため、各メーカー様をはじめ、各加盟団体の皆様方からも幅広く広告掲載のご協力を頂きたいと考えておりますので、是非、皆様方のご協力をお願い致します。(別途、広告掲載のご依頼のお知らせをさせて頂きます。)

2 100周年記念式典

☆横浜のテニスの普及・発展に貢献された方々、協会活動に尽力された方々、優秀選手加盟団体の代表者の方々、テニス関係団体の方々等にお集まり頂き、100年の歴史を振り返り記念式典の開催を予定しています。

☆開催時期については、本来100周年を迎える今年の2022年に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、式典の開催が難しいと判断し、来年の2023年11月に開催する予定で現在、各種準備を進めております。

[お願い]

記念誌作成の資料となる過去の古い資料や大会プログラム等をお持ちの方は是非、協会事務局にご一報頂ければ幸いです。

[連絡先] 横浜市テニス協会　事務局(原則　月・水・金　9:30～16:30)
横浜市中区翁町1-5-5 関内スクエアビル 306号 TEL.045-663-0557　FAX.045-663-0558　E-mail　info@yokohama-tennis.jp

協会インフォメーション

ホームページのご案内

★テニスに関する各種の情報を始め、大会の実施案内や日程等をお知らせするためにホームページを開設しています。 **http://yokohama-tennis.jp/**

令和4年度新規加盟(5団体)

1 ハローテニスクラブ　2 陽だまりテニスクラブ　3 柿生テニスクラブ
4 Yokohama Tennis International　5 Down The Line

横浜市テニス協会加盟団体内訳(2022年8月31日現在)

営業クラブ(スクール含む)	62団体
実業団	41団体
同好会	36団体
その他	4団体
合　計	143団体